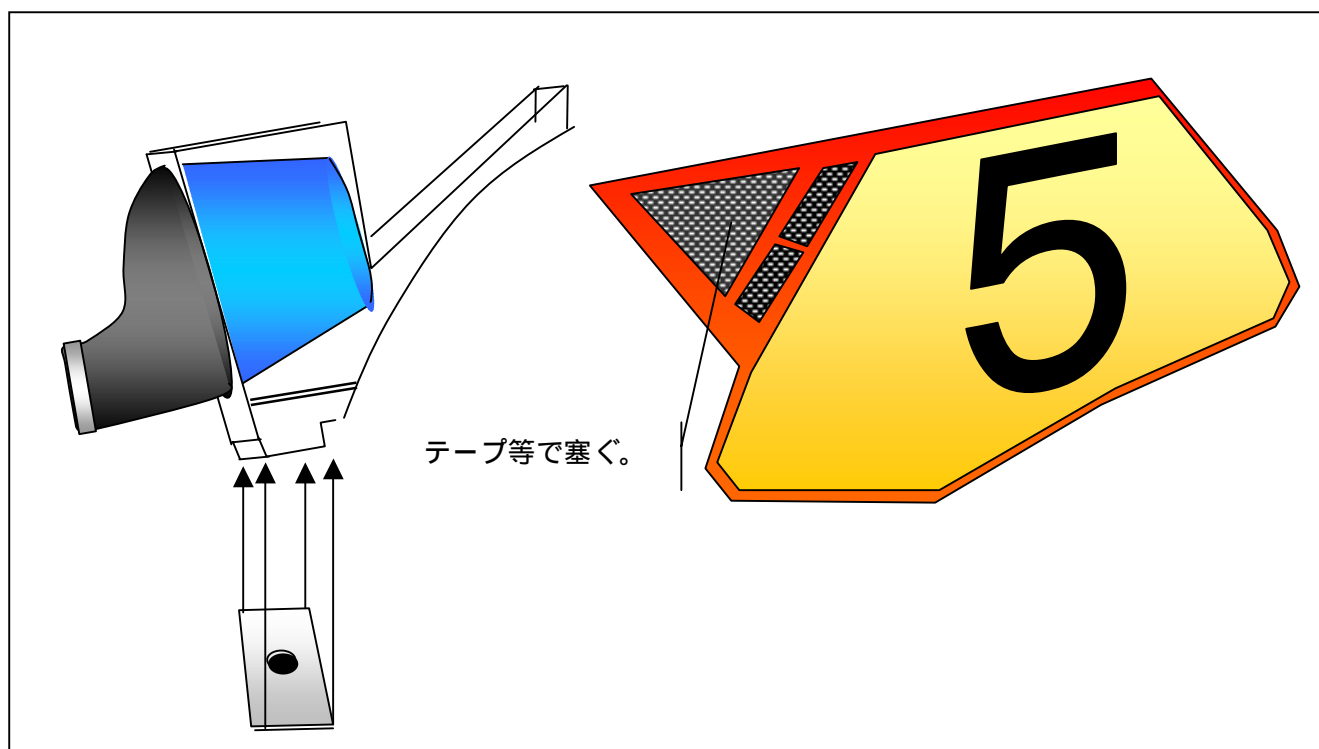


## 水没

2001年HART in 月山では、金曜日に降った雨の影響で立谷沢川の水量が多く、多くの車両が川で水没してしまった。

### 水没の予防

レーザーのエアクリナーボックスは、吸気効率優先で、側面や下側にも大きな開口を持っているものが多い。このため、エアクリナーボックスに水が入りやすい。下側の開口は全て閉じてしまうと入った水が抜けなくなるので、水抜き穴を開けておく。



#### 水没の対応方法

少くも水が入ってしまっただけなら、キックを繰り返せばそのうちエンジンがかかる場合もあるが、キックが降りない、あるいはセルが回らない状態だと、エンジン内部まですっかり水が入っているので、下記のような手順を踏まないと再始動できない。

エアクリナーを開け、エアクリナーエレメントを取り外す。エレメントは交換するか、絞って水気を取る。

エアクリナーボックスに水が溜まっているようなら、ドレンが詰まっているので、詰まりを取り除き水を抜く。

インシュレーターに水が溜まっているようなら、キャブレターを外し、水を抜く。

キャブレターのフロート室のガソリンを一度抜く。(水が混じっている可能性大)

プラグを外し、コックを閉にして空キックを繰り返してエンジン内の水を抜く。

2ストロークであれば、バイクを逆さまにして、ギヤを3速くらいに入れてリヤタイヤを回すと、早く抜ける。4ストロークだとクランクにまで水が入ることはないので、逆さまにはしない。

また、逆さまにすると、エンジンオイルがブリーザーチューブから漏れてしまう。

空キックしても、あるいはタイヤを回しても水が出てこなくなったら、水抜き完了。

逆さまにした場合はバイクを立てる。

エアクリナーエレメントを取り付ける。

プラグを取り付ける。できればスペアのもの。

コックを開にする。

後はエンジンがかかるまでキックする、あるいはセルを回す。